



セブ島通信

セブ日本人会報

2020年1月号
(隔月発行)
発行所
セブ日本人会
5th Floor
Clotilde Commercial Bldg,
ML Quezon St. Casuntigan,
Mandaue City, CEBU
TEL: (032) 343-8066
FAX: (032) 343-7663
発行人: 櫻井絹恵
編集人: セブ日本人会
http://www.ja-cebu.com
info@ja-cebu.com

新年のご挨拶

セブ日本人会会長 松田和人



謹んで新春をお祝い申し上げます。
セブ日本人会の第17代会長に就任
させて頂きました松田和人（マ
ツダカズヒト）と申します。

このたび記念すべき2020年に
会長という職を預かることとなり、
光栄に感じております。まずは簡単
に自己紹介をさせていただきます。
福岡県飯塚市に生まれ最初の就職か
ら約五年間は東京にりましたが、
今までの人生は福岡中心に過ごして
きました。それがまさか自分の人生
において海外生活を送ることになる
とは露ほども思ってもおりませんで
した。前職の頃リタイアメント施設
をセブに作る案件をきっかけに現地
法人の代表としてこの地に降りたつ
たのが七年前の2013年でした。
その事業自体は結局かなうことはあ
りませんでした。ホテルの立ち上
げから開業、運営までの経験を自分
なりに積んでまいりました。フィリ
ピンでの生活や仕事を経験された方
はご存じだと思いますが、日本を一
歩出ればそこは段取り通りに事は運
ばないのが常で、ひと通りの苦労は
ありました。現在は、留学生を日本

に紹介する仕事や会社立ち上げなど
に対して個人的にサポートを行なっ
ております。セブに来たことをきつ
かけに日本にいた頃以上に多方面の
ご縁をただけて今日につながって
いると熟思うところです。今回、会
長という大役をお引き受けするにあ
たり、まだセブへ来て七年ほどの新
参者の私で務まるのかという迷いも
ありましたが、いろいろな方からの
助言もいただき、何かお役に立てる
ことができればと思い、決断しまし
た。

フィリピンで生活するようになって、日本とフィリピンを比較して考
えることが増えました。日本は昨年、
令和という新しい時代を迎え、今年
はオリンピックに向けてさらに活気
がある年になろうとしている反面、
少子化がさらに加速し高齢化が進む
ことが懸念されています。フィリピ
ンは、人口が増え、記録上は経済発
展をしています。貧富の差はまだ
まだ顕著にあります。どちらが良い
のかわかりませんが、他の国を知っ
て自国を鑑みることは大切だと感じ
ております。今、このセブで生活さ

せていただいていること、そして日
本人会の職に就いたことで何かでき
ることがないかということに常に考
えていきます。これからの時代、情
報が飛び交い、多くの意味で変化が
激しくなると予想されます。これま
で先達が築かれてきた轍を乱すこと
なく踏襲しつつ、新しいことに挑戦
できれば幸いです。

昨年、会員の方からのご提案で懇
親会をいろいろな形で行ってみました。
た。ボーリング大会、落語家の講演
会、保険のセミナー、忘年会など
です。まだまだ参加いただける方は少
ないですが、いろいろな交流が始まっ
たり、深まったりする事はとても大
切なことだと実感しました。先日と
ある中国の方からこんな話をされて
ショックを受けました。「海外にいる
中国人や韓国人は困っているときに
同郷同士で助けあうけど、日本人を
見るとあまり助けあっていないよう
に感じる」ということを聞き、衝撃
は受けましたがそう見えていること
は、遠からず外れてはないと感じま
した。今の世の中、情報はインター
ネットなどで入手することはできま
すが、人を通じての情報や実際の
交流は、インターネットでは限られ
る部分が出てきます。フェイストゥ
フェイスの交流を日本人会通じてで
きるようになる事こそが存在意義だ
と思いますし、そこから海外で生活
する日本人同士の助け合いや信頼が
生まれてくればと切に思います。一
人の力では微力ですが、今回の理事
は若手もたくさん揃いました。そし
て応援してください。会員さんも多
いらつしやいます。現在、約260
名の会員様がいらつしやいますが、
300名を超えることを一つの目標
とします。この会員数も日本人会に
対するまた一つの評価だと捉えてお

ります。先輩方、若い方、リタイア
された方やビジネスされている方な
ど織々に交流していただける機会が
増えていく活動が何かを考え実践し
てまいります。

そして、昨年、一度休止した盆踊
りが復活します！ 六年前に日比交
流を一番の目標とした有志でスタ
ートしました。私も一回目から実行委
員として携わってききましたが、やる
たびに準備の大変さから、もうやめ
た方がよいと思ったりもしましたが、
昨年の桜フェスティバル（日本の文
化に照準を合わせたイベント）を開
催したり、ダバオで行われたダバオ
日本人コミュニティ100周年のイ
ベントに参加して、フィリピンの方
がいかにも日本文化に触れることを楽
しみにされていること、現地の日本
の方々も外国の地で日本文化を感じ
ることを楽しみにされていることを
改めて感じ、2020年という記念
すべき年に再び開催する決意をいた
しました。今年6月6日（土）7日
（日）、場所はS Mシーサイドそばの

元会員の渡辺登氏が日本で
老衰のため11月29日に永眠
されました。享年80歳。生前
時は日本人会の活動に貢献さ
れて頂きました。
ご冥福をお祈りし、謹んで
お知らせ申し上げます。

用地とモジュールを使つて行
う予定。すでに盆踊り実行
委員会を立ち上げ準備も始
まっております。ぜひ日本人
会会員の方にも多くご参加
いただきたいと思います。

本年も、セブ日本人会が会
員様の皆様にとつて少しでも
何かのお役にたてる存在とな
るため、理事のメンバーと力
を合わせてがんばる所存です
ので、会員の皆様のご支援ど
うぞよろしく願いいたしま
す。

総会終了後、引き続き懇親会を行います。
懇親会ではお食事を用意させていただきます。
また、今年も餅つきが予定されております。
つきたてのお餅をお楽しみください！

セブ日本人会 総会

懇親会のお知らせ

日程／2020年1月25日（土）

総会／午後 6:00 ～（受付5:30開始）
懇親会／午後 7:00 ～9:00

場所／マルコポーロプラザホテル3階
Shanghai Beijing Room

会費／500ペソ（懇親会ご参加の方）
800ペソ（非会員の方で懇親会のみ参加の方）

- 総会次第／
1. 会長挨拶
 2. セブ領事事務所より領事挨拶
 3. 2018年活動報告、会計報告、会計監査
 4. 2019年活動予定、会計予算案
 5. 質疑応答

2020年 セブ日本人会 活動予定

1月	4日（土）	セブ日本人補習授業校主催 新年会
	8日（水）	一月度定例理事会
	25日（土）	セブ日本人会定時総会
2月	1日（土）	日本語弁論大会 スピーチコンテスト
	19日（水）	二月度定例理事会
3月	18日（水）	三月度定例理事会
	22日（日）	春のセブ日本人墓地 墓参
	26日（木）	タリサイ慰霊祭
	28日（土）	セブ日本人補習授業校 卒業式
4月	4日（土）	セブ日本人補習授業校 入学式
	15日（水）	四月度定例理事会
3部合同ゴルフ大会(セブカントリークラブ)日程未定		
5月	16日（土）	マニラより巡迴医療相談
	20日（水）	五月度定例理事会
6月	6日（土）	2020年盆踊りSM SEASIDE
	7日（日）	2020年盆踊りSM SEASIDE
	17日（水）	六月度定例理事会
7月	15日（水）	七月度定例理事会
	JLPT（日本語能力試験）日程未定	
8月	12日（水）	八月度定例理事会
	15日（土）	戦没者慰霊祭(マルコポーロ)
	16日（水）	九月度定例理事会
9月	19日（土）	マニラより巡迴医療相談先生確認
	20日（日）	秋のセブ日本人墓地 墓参
	20日（日）	秋のセブ日本人墓地 墓参
10月	4日（日）	セブ日本人会主催大運動会(ドンボスコ運動場)
	21日（水）	十月度定例理事会
レイテ島巡礼慰霊 日程未定		
11月	18日（水）	十一月度定例理事会
12月	16日（水）	十二月度定例理事会
JLPT（日本語能力試験）日程未定		

※諸事情により、急遽日程が変わることもございます。ご理解・ご協力の程、宜しく
お願い致します。

毎月もしくは隔月で懇親会もしくはイベントを開催予定です。

HP: <http://www.ja-cebu.com/portal/index>
FB: <https://www.facebook.com/JapaneseAssociationCebuInc/>

★セブ島通信に記事を掲載したい方は「メール：info@ja-cebu.com」迄、お問合せください。
★セブ島通信では、発行日（奇数月の月初）の1ヶ月前を締切として原稿を公募しております。

元日本人会会長 櫻井絹恵



明けましておめでとうございます。令和2年は十二支の子年あたり、格言では繁栄の年といわれています。皆様にとって飛躍の年となりますようお祈り致します。2016年から2019年まで4年間、第16代セブ日本人会会長を務めさせて頂きました。セブ領事事務所の領事の皆様、セブ日本人商工会議所の皆様、セブ補習授業校の講師及び父兄の皆様、国際交流基金様、そして親愛なるセブ日本人会会員の皆様と理事の皆様に多大な御協力と御支援を頂き心より感謝致します。主婦目線で物事を判断して会長としての資質も器もありませんでした。常に理事の皆様をサポートして頂き苦しい時も嬉しい時も寄り添って頂きました。太く濃い4年間は一生の宝になりました。日比友好親善に貢献している盆踊り大会やさくらフェスティバルと大規模なイベントが安全且つ大成功に終了し、セブの多くの方々に感

動を与えました。何よりも現地の自治体や報道機関から高く評価して頂きセブ日本人会の知名度が上がった事です。セブ市からは市長特別賞を表彰されました。日本人会の通常活動においては、総会、新年会、日本語弁論大会、大運動会、毎月様々な形で継続されている懇親会、セブ観音で行なわれている戦没者慰霊祭やタリサイ・レイテ島での慰霊、セブ日本人墓地の管理と春秋の墓参、セブ島通信発行やホームページ及びFBでの発信が継続出来ているのも一重に応援して下さいいる皆様と献身的に御尽力頂いている理事の皆様のおかげです。厚く御礼を申し上げます。これからは副会長として松田会長を支えて参ります。セブ日本人会の発展と愛される会作りに貢献する所存です。引き続き宜しくお願い致します。皆様の御健勝と御多幸をお祈り致します。

日本人会主催でさくらフェスティバルが開催されており、セブ日本人会は在留邦人の親睦の活動に加え、日本とフィリピンとの交流活動にも力をいれておられています。新年においては、2月の日本語弁論大会、6月の盆踊り大会など大きな行事が予定されており、セブ領事事務所もできる限り応援致します。

昨年は、5月1日に新しい天皇の即位とともに平成から令和へ改元が行われ、10月22日には即位正殿の儀において陛下が内外に即位を宣言され、歴史的な皇位継承が行われて新しい時代が始った年になりました。日本漢字能力検定協会がその年の世相を表す漢字ひと文字を一般から募集した2019年の漢字で「令」が選ばれたことも新しい令和の時代への期待の高さの現れと思います。

フィリピンでは、昨年5月に中間選挙があり、上院及び下院の議員に加えて地方自治体の首長が新たに選ばれ、セブ州ではグエンドリン・ガルシア州知事、セブ市でエドガルド・ラベツラ／セブ市長が誕生しました。ガルシア州知事は、セブ州を

再びナンバー1の州にするという目標を掲げ、また、セブ州政府とセブ市役所はワンセブ（1つのセブ）として発展のためにまとまっていく方針を打ち出しました。セブの一層の発展が期待されます。

商工会会頭 木下浩寿



セブ日本人会の皆様及び在留邦人の皆様、明けましておめでとうございます。

セブ島通信の紙面をお借りしまして、ご挨拶を申し上げます。

私は2011年にセブに赴任してきました。当時と比べて、セブの市街にはショッピングモールやホテル等が多く新設され、特にアヤラ周辺やITパークは急速に都市化してい

また、私が着任する前には、セブ

ら、日本語弁論大会や戦没者慰霊祭などの行事に参加致しました。また、2012年にアヤラで行われたジャパンフェスティバルや最近では盆踊り大会に招待を頂き、親交させて頂いています。

日本人同士の親睦や情報交換の場として、また日本人社会とフィリピン人社会の友好の場として、真摯な活動を継続しておられることにいつも敬服しております。

セブ日本人商工会議所には2012年から理事となり、昨年と一昨年は副会頭を務めさせて頂いています。本年より会頭職につきまして、気持ちを新たにしているところです。会員数は現在正会員140社賛助会員24社（2019年12月）となっており、最近では非製造業の会員も増加しました。会員企業間の交流や情報交換の場としてスタートした産業別の部会活動は4年目となり、部会間での交流会が行われるま

でになりました。また、タイムリーにセミナーを開催をして、最新の経済、社会情勢について分かりやすく会員の皆様にお伝えしています。

今年が皆様にとって良い年になるよう祈念いたします。

今年が皆様にとって良い年になるよう祈念いたします。



また一方で、消費者物価が高騰し、人口、車の増大によるセブ市内の渋滞が深刻化しています。赴任地がバランバンというセブ島西部のいなか町ですが、こちらでも最近ではガイサノやジョリビー等の商業施設が営業を開始し、時代の変化を感じています。

日本人会の皆様とは赴任当初か

善につき必要な対応を行っております。②税制委員会では2018年から国会に提出されているPEZAの優遇税制を見直す内容の税制改革法案は、昨年にはCITIRA法案として、下院議会を通過して現在の上院議会にて審議されており、会員のPEZA企業に法案が及ぼす影響をアンケートして、結果を意見書として関係行政機関に提出しています。

③MEZロット問題委員会ではMEZ2の土地賃貸契約の更新に伴う土地賃貸料の大幅な値上げやMEPZ1のセブ空港拡張に伴う立地企業の移転計画の問題に対し、情報交換及び必要な対応を行っています。このような問題に対し当会議所だけでなく、日本国大使館及びセブ領事事務所、フィリピン日本人商工会議所及びミンダナオ日本人商工会議所と連携し、オールジャパンとしての対応も行ってきました。

今年が令和2年、令和となり最初の新年が始まりますが、これまでどおり、日本国大使館、セブ領事事務所、フィリピン国内の日本人商工会議所、セブ日本人会をはじめ当地の関係機関の皆様のご協力を賜りながら、取り巻く環境の改善や会員相互の親善、利益、福祉を促進していく所存ですので引き続きよろしくお願い致します。

今年が令和2年、令和となり最初の新年が始まりますが、これまでどおり、日本国大使館、セブ領事事務所、フィリピン国内の日本人商工会議所、セブ日本人会をはじめ当地の関係機関の皆様のご協力を賜りながら、取り巻く環境の改善や会員相互の親善、利益、福祉を促進していく所存ですので引き続きよろしくお願い致します。

今年が令和2年、令和となり最初の新年が始まりますが、これまでどおり、日本国大使館、セブ領事事務所、フィリピン国内の日本人商工会議所、セブ日本人会をはじめ当地の関係機関の皆様のご協力を賜りながら、取り巻く環境の改善や会員相互の親善、利益、福祉を促進していく所存ですので引き続きよろしくお願い致します。

JATIC会長 田村ひろみ



新年明けましておめでとうございます！

皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申

申し上げます。

私共日本観光業界セブ組合(Japan Association Tourism Industry in Cebu、以下JATIC)は、

セブ領事事務所所長 渡邊博

皆さん新年明けましておめでとうございます。

昨年5月にセブに赴任して以来7か月になります。初めてのフィリピン在勤で戸惑うこともありましたが、皆様にフィリピン及びセブの事情についていろいろと教えていただき大変助かりました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

セブに到着した翌日5月11日のセ

1999年に始まりました。当初は数名の日本人から始まりましたが、現在では54社（旅行会社、ホテル、観光業に携わる企業）の会員によって成り立っており、2019年で20年を無事迎えることになりました。2019年の活動として10月に、マクタン セブ空港／セブ観光局／フィリピン航空のご協力をいただき、日本から旅行会社約30社をセブに招待し、実際に現地セブを視察していただきました。セブ、ボールの観光地での体験と新しい情報などを得て皆様ご帰国されました。

さらに、マルコポーロプラザホテル セブとの協賛によりラホッグ区アパス町にて約125名の女性を対象とし、婦人科医師会と協力のもと婦人科検診のボランティア活動も行いました。

2019年、セブでは新しいリゾートホテルのオープンや、ITパークの大型ショッピングモールの

セブ邦友会・会長 門馬 勇



セブ日本人会の皆様、並びにそのご家族の皆様、新年のお慶びを申し上げます。

昨年1月から「セブすみれ会」は名称を「セブ邦友会」と改め、新生「セブ邦友会」として新たな出発を致しました。

日本でも昨年は天皇陛下が生前退位され元号も令和に改まり、即位の礼の当日の朝は土砂降りの雨となり、どうなる事かと心配しましたが、式典が始まると空には虹が出て天候が回復するという奇跡的な感動を体感させて頂きました。

海外在住者の私にとっては日本に

オープン、マクタン・セブ国際空港の国際線ターミナルのリニューアルなど、セブのさらなる発展の兆しを感じられる出来事がたくさんあったと思います。さらに、フィリピンに訪れる日本人の数は、今年8月時点で初の60万人を超え、なんと過去最高を更新しました。フィリピン観光省によると、2022年には日本人観光客を180万人にすることを目指していると言っています。セブは日本人観光客にとってさらなる注目のエリアとなることは間違いないでしょう。

2020年もメンバー一同一丸となりセブの観光業界を盛り上げていくとともに、多くの日本人観光客のみなさまがセブ島旅行に来ていただけるように尽力して参ります。皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。本年も宜しくお願い申し上げます。

本年も宜しくお願い申し上げます。

住んでいた時とは又異なる深い感動を味わいました。

この記念すべき年に私達の「セブ邦友会」も産声を上げました。

現在の当会は未来永劫の発展と継続を目指し、付加価値を高め会員の皆様に「入会して良かった」と実感して頂けるような、コミュニティを目指し、

昨年より当会の基礎固めをスタートし様々な改革を会員の皆様と一丸となつて進めております。

私達「セブ邦友会」の目的は、1. 会員のセブでの生活上の為の

- 安全・安心を目的とした情報交換と情報提供
- 会員とそのご家族の親睦を目的とした懇親会や同好会の活動
- セブ邦友会の会員として誇りを持つ事の出来る社会奉仕や、各会員が今迄培ってきた経験と能力を生かし
- セブ在住日本人の皆様への社会活動

セブで終焉を迎えるにあたっての生前準備（終活）に関する情報提供とサポート

以上を中核とし、セブ日本人会の皆様と共に手を携えて、更にはセブにご縁を持たれて永住・長期滞在・英語留学等セブに滞在されている日本人とそのご家族の皆様が穏やかで安心できる日々を過ごすことが出来る為の情報発信し、その一助となるよう微力ながら協力させて頂きたいと存じます。

セブ邦友会では、毎月第一日曜日午後1時より、全会員出席のもと

Wa o j e セブ代表 佐藤ひろこ



様々な問題や生活情報交換等を真剣に討議する定例会を行っております、会員以外の方でも、興味が有りましたらオブザーバーとして出席出来ます、当日でもかまいませんので理事にお申し出ください。更には毎週水曜日午後1時よりマンダウエ市に有りますJセンターモール2階のテラス席（イミグレーションの外側右手）で相談会を行っております、会員以外の方でもたでも結構ですので「転ばぬ先の杖」としてお気軽にご利用ください。

Wa o j e セブより新年のご挨拶 新年明けましておめでとうございます。 昨年は、前代表の藤岡頼光氏より引き継いでWa o j e セブの支部長をさせて頂きました。Wa o j e とは、現在世界23拠点にあり、世界中で活躍する経営者をつなぐ団体で、2017年の2月にセブ支部は立ち上がりました。 昨年は、よりセブらしさを活かす会にすべく会員を増やすこととして、毎月定期的な学びの会になるように意識して参りました。今までも定期的

イベントを開催して参りましたが、特に今年から入ってくれた若いメンバーが中心となつて、昨年開催された「夢セブ」は、第1回、2回共に100、200名の方が集まる大成功のイベントとなりました。 第1回は、セブに語学留学に来ている方をメインに、どんな希望や夢をもつてセブ島に来ているのか？という思いを語ってもらうスピーチイベントで、私も前に立って話したい！という参加者がこちらの想像を超えて多数あり、約200人集まった視

聴者側もだれの夢が最も感動したか？を、みんなの投票によって順位を決めるという参加型イベントで大変盛り上がりしました。 第二回目は、より進化した形として、語学留学という枠を超えて、このセブという場所を通じて、より具体的に行動を始めている人のTEDスタイルなイベントになりました。運営費用は、クラウドファンディングで募り、経営や運営をより意識するため、参加者の費用も「投げ銭」形式で応援者を直接支援するという形を取る新しい試みも取り入れました。 主となる実行委員のメンバーや、共にセブで働いたり学んだりしている多数のボランティアスタッフ、その他セブに関わる多くの皆様の協力があつて、若いエネルギーが溢れる今のセブらしいイベントが開催できたのではな

いか？と思います。 Wa o j e には、支部会員とグローバル会員があり、グローバル会員になると世界中で開催される世界大会などにも参加できます。 昨年はゴールドコーストで行われ、世界中から日本の経営者が400名ほど集まり、3日間のセミナーを通じてよりグローバルな視点で繋がりがり学ぶ機会を得ることができました。 今年、クアラルンプールで開催予定です。 セブから世界へ。 今年には任期を終えた新しい代表へとバトンタッチして参りますが、今後ともセブらしいWa o j e の会を発展させて行きたいと思ひます。 ご興味のある方は是非お気軽にご連絡下さいませ。

DT Cebu Translation & Pension Application



… 日英翻訳 …

- (横浜市立大学文理学部英文科卒 鈴木 了)
- (Document Translator): Rio Suzuki [MEL in Yokohama City Univ.]
- * 公文書/証明書 (Official Documents / Certificates) Marriage, Live birth, Death, etc.
 - * 契約書等 (Contracts / Agreements) Pay slip, Payroll book, Employment, etc.
 - * 仕様書/マニュアル (Business Technical Specifications, School Record, etc.)

… 遺族年金申請手続 …

(Procedures for Pension Benefits to a Filipino family)

[Cedula, BIR Cert, Barangay Cert, ID, Cohabitation, Bank Cert, Power of Attorney, etc.]

(日本国での担当: 中原周太郎 行政書士)

(Person in charge in Japan): [Shutaro Nakahara, Administrative scrivener]

年金申請には日本国内での申請用紙と異なる類似のフィリピン国発行の書類約10枚前後が必要になります。

[The pension application-documents are necessary for the ones issued from Philippine Government. Those are the similar documents but different from the application-documents in Japan].

申請書類収集後、日本年金機構に申請、年金受領は約3か月後からになります。

[After collecting all application-documents, we apply for pension to Japan Pension Service. It will take 3 months till the applicant starts receiving the pension regularly]



Please feel free to inquire directly!

- ◆ Inquiry: Cell: 0917-7171-839 Tel & Fax: (032) 423-6273
- ◆ Email: suzkicebu@yahoo.co.jp lolocebu@gmail.com

第 18 回セブ日本語弁論大会

The 18th NIHONGO SPEECH CONTEST in Cebu

Date: February 1, 2020 (Saturday) 2:00pm - 5:00pm

Venue: SM Cebu Trade Hall Meeting Room AB

PURPOSE

This contest aims to motivate those currently studying Japanese and hopefully will become one of their goals. This also aims to improve the Japanese Language Education in Visayas area.

GENERAL QUALIFICATIONS

- * Must be a Filipino citizen or a non-Japanese citizen with a permanent resident status in the Philippines and his/her native/first language is not Japanese.
- * Must be at least 18 years old by June 1, 2020.
- * Studying Nihongo or living within Visayas area.
- * Participants in previous contests may join (1st prize winners in the same category excluded).
- * **Students' Division** Must be a student currently enrolled in a university/ college or senior high school in the Philippines.
- * **Non-students' Division** Must NOT be a student currently enrolled in a university/college or senior high school in the Philippines.
- * For both Students' Division and Non-students' Division, one is not eligible if he/she has stayed in Japan for more than a total (accumulated) of seven (7) months.
- * **Open Division** Those who are not eligible under the conditions of Students' Division or Non-students' Division fall under Open Division. However, those who are eligible for Students' Division or Non-students' Division, but with a high level of Nihongo proficiency, may apply for Open Division.

REQUIREMENTS / PROCEDURE

- * Duly accomplished application form with summary/ brief information
- * Copy of speech text (in Japanese characters) – original composition written by the applicant on a theme of his/her choice. Speech duration (delivery time): 3-5 minutes
- * Recording of speech (cassette tape/ CD etc.)
- * In case of many applicants, screening will be done.

PRIZES

- * 1st prize winners (3) will be invited to the 47th Nihongo Speech Contest in Manila.
- * All contestants will receive consolation prizes and certificate.



DEADLINE FOR SUBMISSION OF REQUIREMENTS

JANUARY 15, 2020 (Wednesday)



Japanese Association Cebu, Inc. in cooperation with The Japan Foundation, Manila
5th /F Clotilde Commercial Center M.L. Quezon St., Casuntingan, Mandaue City

Tel:343-8066/ Fax: 343-7663

SPONSORS

Japanese Chamber of Commerce and Industry of Cebu, Inc. / Consular Office of Japan in Cebu

離任の挨拶

このたび、1月10日に日本に帰国することとなりました。丸3年のセブ領事事務所での勤務を終えることとなりましたが、セブ日本人会および在留邦人の皆様のご支援、ご理解およびご協力のお陰でつつがなく業務を遂行することができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

約3年前の2016年12月、南アフリカのケープタウンから家族同伴にて転勤して参りました。当時、1歳半と3歳半だった娘二人は、着任後直ぐに体調を崩し、特に下の娘は、1週間ほど入院することになり、着任早々から慌ただし日々を過ごしたことがつい最近の出来事のように思い出します。気がつけば娘二人も4歳半と6歳半となり、いよいよ上の娘は今年の4月から日本の小学校1年生となります。私も三十代後半で着任しましたが、四十代に突入し、いわゆる厄年の大半をセブで過ごすこととなりました。冒頭申し上げた通り無事に過ごすことができたのは、日々の交通渋滞のストレスの方に意識が向き、災いに気づかなかつた：ではなく、自然豊かなセブ島の生活環境のお陰だったと思っております。

当事務所に着任し、在留邦人の皆様の生活に少しでもお役に立てばと思い、領事サービスの向上に日々努めて参りました。できたことよりもできなかったことの方が多かったと思う節があることはもちろん、皆様にとって領事サービスレベルの向上は、まだまだ足りていない、道半ばであると感じられることも多々あったと思います。その点につきましては、率直にお詫び申し上げます。セブ島では、セブ日本人会を始

在セブ領事事務所 降幡茂樹

め、セブ日本人商工会、セブ補習授業校や日本有志の方々の集まりやイベントが多く開催されており、小生もできる限り参加させていただきました。特に印象深いイベントとしては、やはり、セブ日本人会主催の盆踊り祭りでした。これまでの勤務地における日本人コミュニティの主催するイベントはたくさんありましたが、ここセブで開催されたセブ日本人会主催の盆踊り祭りは正直に衝撃と感動を受けました。セブ日本人会の理事の皆様や、実行委員会に携わる皆様が、日本とフィリピンの架け橋役として労を厭わずに献身的に盆踊り祭りの成功のためご尽力なさっていらつしたお姿は忘れることができません。海外で生活していると、特に私のような子供を連れて滞在している者は、子供に対して日本の文化や季節の行事を体験させることに困難が伴います。盆踊り祭りに参加しますと、浴衣姿の参加者に混じって出店を見ていると夏祭り

着任の挨拶



昨年12月12日に降幡の後任として着任した瀬尾英昇司(ひとし)

でとし)と申します。これまでフィリピンでの勤務経験も旅行経験もなく、セブが初めてとなります。これまでの海外勤務では、古い順に在アルゼンチン日本国大使館、在バンダラデシユ日本国大使館、在ニューヨーク日本国総領事館、そして直近の在ノルウェー日本国大使館に勤務

の雰囲気を経験することができ、そもそも盆踊りとは？という教えが子供には通じたのか疑問なしとしませんが、大変貴重な時間を共有することができました。

日本とフィリピンの関係はもちろん、セブ州、セブ市を始めビサヤ地方の都市と日本の自治体や日系企業等との交流が益々活発になることはご承知の通りです。また、セブを訪れる日本人観光客、留学生も飛躍的に増加していますが、フィリピン、セブからも多くのフィリピン人が日本を訪問し、相互交流が益々活発になります。そのような状況下において、セブの日本人コミュニティに求められる役割等も大きく変化することと思います。その旗印として特にセブ日本人会の皆様もこれまで以上の役割を求められることが多くなるかもしれません。どうぞご自愛いただき、日本とフィリピンの架け橋役として更に活躍いただければと思います。

最後となりますが、セブ日本人会長および理事の方々に始め会員の皆様、在留邦人の皆様の益々のご活躍とご多幸を祈念し、離任の挨拶とさせていただきます。

在セブ領事事務所 瀬尾英昇司

しておりました。今回は、ノルウェーからドバイ経由で直接セブに入りましたが、ノルウェー出発時点での気温がマイナス5度で、セブに到着し、タラップを降りた瞬間から夏を感じる温度と湿度に、セブに来たことを実感させられました。

その後、ホテルと事務所とショッピングモールの間を移動しているばかりではありますが、アジア特有の活気と高温多湿なこの気候に懐かしさを感じております。車窓から街を

見た感じでは、バン格拉デシユに近いものがあり、車の運転はアルゼンチンに近いものがあると感じております。ただし、車の排気ガスの酷さは想像以上で、街歩きをするには苦勞しそうだと感じております。

個人的にはスポーツが好きで、サッカー、野球、テニス、ゴルフについては、直ぐにプレーできるような道具を持参いたしました。これら以外にも剣道やサーフィンもやっていましたので、是非、セブでも様々なスポーツを楽しみつつ、多くの方と交流を持てたらと考えております。

仕事の面では、領事業務の中でも旅券業務、証明業務、戸籍・国籍業務および査証業務を担うこととなります。自己紹介と併せて、前任同様に所掌である旅券・証明業務について、いくつかのお願いを記載させていただきます。

旅券は、外国で身分を具体的に証明するほば唯一の手段といえる重要なものになります。その旅券を不幸にして紛失された場合には、再発給の手続きに時間を要することに加え、フィリピンの滞在許可(査証)の再発行等に膨大な時間と労力を要することにもなります。また、日本にお住まいのご家族、ご友人などが当地を訪れた際に不幸にして旅券を紛失されますと、「帰国のための渡航書」という旅券に変わる公文書を発給しますが同書類には、フィリピンの入国スタンプが押されていますので、空港でチェックインをしようとする際、混乱が生じることにもなりかねません。旅券を紛失されますと、無用に経済的・精神的な負担を被ることになります。また、旅行先の国によつては、旅券査証ページの残存数や有効期限が一定数以上必要な場合もあります。空港に到着してから、旅行先の国の制度に気がつき、日程変更を余儀なくされる場合もありますので、旅券の管理に加え、

査証ページの残存数や有効期間についてもご確認いただくようお願いいたします。

証明業務は、特に在留邦人の皆様がフィリピンに滞在される上で必要となる証明書類を有効な公文書に基づいて発給しております。例えば、身分事項に関わる証明書(出生証明、婚姻証明等)は戸籍謄(抄)本に基づいて発行しますが、必要な証明書によつてその戸籍謄(抄)本の有効期間が異なります。在フィリピン共和国日本大使館のホームページに詳細が載っておりますので、申請前に

一度ご確認いただければ幸いです。

また、日本の運転免許証につきまして、在外公館で手続きできる業務ではなく、日本の運転免許試験場等でしか更新はできませんが、特に海外にお住まいの方には更新日をご留意いただければと思います。

最後に、当地日本人会は積極的にいろいろな事業を実施され、活発に活動されているとも聞いております。これまでのご努力に敬意を表しますとともに、今後の益々のご発展及び盛り上がりをお願いいたしております。

エメラルドグリーンダイビングセンター Emerald Green Diving Center

☆☆ ジンベエツアー開催 ☆☆

日本人インストラクターが5人常駐!!ダイビングが初めての方やお一人で参加される方にも安心。少人数、安全そしてきめ細かなサービスで快適なダイビングを約束♪またセブ島の南サンタナダ、モアルボアル、ボホールにも支店(もちろん日本人インストラクター常駐)がありますので、マクタン以外の海を潜りたいダイバーの方は、ぜひこちらまで潜ってみてはいかがでしょうか？

電話: (032) 495-7728 or 495-8372
携帯: 0917-321-6349 (日本語可)
場所: Anemone Resort 内
Buyong, Maribago, Lapu-lapu City,



特典

セブ島通信を見て事前にダイビングをご予約された方オリジナルTシャツ贈呈＆ランチ無料!
プロモ期限: 当セブ島通信発行年月より1年間

PTN TRAVEL CORP.
女子旅
CEBU 最高~!!

(+63)32-340-7910 PTNトラベル 検索
@zpq3556y info@ptn.com.ph

【お申込みは】
セブ日本人会事務局
電話：032-343-8066
FAX：032-343-7663



クリスマス会

12月21日(土)の2・3時間目に、毎年恒例のクリスマス会を行いました。中学生からのハンドベルの演奏の後、2チームに分かれて3つのゲームを行い、最後に個人戦でビンゴ大会を行いました。ハンドベルの演奏はとても上手できれいな音色に癒されました。3つのゲームは、ルールを組み合わせボールを運ぶゲーム、両手をつないだままTシャツを移動させるゲーム、フラフープを上下交互にくぐるゲームといったもので、普段あまり関わることがない他学年の人同士が協力し合い、大いに盛り上がりました。ビンゴは昔ながらのガラガラ回して玉を出すというものではなく、タブレット端末のビンゴアプリを使って番号を出しました。今年も色々な景品が用意されており、中には日本でしか手に入らないようなものまでありました。今回のクリスマス会にはサンタクロースが来なかったけど、次回は来るかな？



私のマーモンな
近所

水野

一昔前は、万聖節（オールセインツデー）には、お墓参りだの、家で死者を迎えるごちそうを作るだの、みんながみんなしていたような気がするが、ここ数年は、少なくとも我が家の周りではあまり盛り上がっているようには見えない。

かくいう私は以前から、墓参りにも行かないし、姑には、「これで死者を迎えるごちそうでも作って。ウチ以外で。」と、いくらか渡して、あくまでも私には関わりはないというスタンスを貫いている。しかし、姑は姑で氣を使っているようで、スポンサーに対し、何かせねばと思うらしく、毎年、ごちそうのおすそ分けを持ち帰ってくる。正直、私が食べたいと思うごちそうではないので、ここ何年かは、「あ、私、ごちそうはいらないからね。持ってこないでね。」と、はつきりと伝えているのだが、今年もピコというココナッツ風味のおはぎみたいなのが、氣がつけばテーブルの上に乗っていた。

この時期、学校はまとまった休みになる。そして親戚連中の今年の万聖節の休みの過ごし方は例年とはちがっていた。

まず隣の一家。惣菜屋などを営んでいるが、店を閉めているなあ、と思っていたら、ボラカイ島に行っていた。隣の息子のフェイスブックを見て驚いた。しかし、こまめに更新されるフェイスブックの記事を見る限り、あま

り楽しそうではない。一緒に連れて行った甥たちは、明らかに不機嫌そうに浜辺を歩いているし、叔母さんにいたっては写真にも動画にも一切姿を表さなかった。私はボラカイには行つたことはないが、彼のフェイスブックを見る限り、ボラカイなのか、家から歩いて5分程度のビーチリゾートなのか見分けはつかなかった。

おそらく格安航空会社の格安チケットでも手に入つたのだろうと推測するが、それにしても何泊かしなくてはならないし、食事だつて結構な出費だろうにすごいね、と単純に感心してしまった。

それから数日後、今度は、別の叔母さん一家が日本にいるのを、これまたフェイスブックで知ることとなった。こちらの一家の場合、箱根の温泉、ディズニリゾートに宿泊し、ディズニシー、ディズニランドを巡っており、思わず「ワオ！お金持ち〜！」と、声をあげてしまった。とても楽しそうに写真に写っているのを見て、「え？ 私、ディズニリゾートなんて泊まったことないし、ディズニシーにも行つたことない」と何だか知らないけどものすごい敗北感である。

この叔母さん一家、近所で両替屋を営んでいて、確かにここ数年、明らかに羽振りがいい。しかし、一家で日本旅行？ 箱根？ ディズニランド？ そんなに儲かっているのか？ と、驚愕する。

この叔母さん、子供が4人いて、そのうち2人が医者になり、一人は教師になったという話だ。一番下の子供は、まだ学生だが、これまたフェイスブックで見たのだが、学校で表彰されるほどの成績優秀者である。完璧

なサクセスストーリーではないか。

日本といえば、ボラカイに行つた一家の娘が嫁いでいる。当然、日本で会つたのだろうと思っていたが、そういう話題は一切、出てこなかった。ボラカイに行つた一家の叔父さんと、日本に行つた叔母さんが実のきょうだいである。しかし、最近は一族の土地のことと揉めている。叔母さんの土地とされるところに、叔父さんが勝手に豚小屋だの鳥小屋だのを建てて、我が物顔で使っていることが我慢ならぬらしい。そんなこと言つたら、ウチだって、ちよつと離れたところに建てかけた家を今ではすっかりこの叔父さんに養鶏場として使われ、持ち主である私でさえ入れない状態になっているけどね。いや、それより、その場所さえ、もはやたどり着けないけどね。

とにかくそんな骨肉の争いに、子供たちもそれぞれの親の味方となり、お付き合いはしていないということらしい。意外とそういうところ、頑なだったりする。

しかし、まさかお互いに意識をしたわけではないだろうが、万聖節の旅行対決に関しては、完全に叔母さんの勝ちだ。

それにしても、最近のセブの経済発展は凄まじい。日本のバブル崩壊を経験している私は、こんな好景氣がいつまで続くもんかと数年前から負け惜しみを言っているが、氣がつけば、親戚連中に完全に追い越されてしまった。

と、万聖節の休みにどこにも行かずに、スマホ片手に、親戚連中の動向をフェイスブックでチェックしながら、ピコを食らうのであった。

セブのご飯

第9回

蝶谷正明

保存食

セブに限らず海外でスーパーの食品売り場や市場を巡るのは楽しいものです。見たことのない野菜、魚、加工食品などが目を楽しませてくれます。セブに来たばかりの頃、豚の顔や背割りにした豚一頭、色鮮やかな熱帯の魚を発見した時の思い出は今でも鮮やかに蘇ります。生鮮食品の供給システムの未発達やまだ冷蔵庫を持たない家庭が多いせいか保存食が充実している印象を受けます。伝統的に魚の塩干物が豊富です。真っ白に塩を吹いたようなもの、クサヤを思わせる臭いを撒き散らすものなどが目につきます。昔から慣れ親しんできたしょっぱい魚ほんの少しで大量のごはんをかきこむのはアジア世界共通ですね。日本だって私の子供のころは塩ジャケは白かったし、メザンなども塩分

たっぷりでした。漬物も塩がきつかったし。やっとお役所主導の減塩キャンペーンが始まったことを覚えています。スーパーのカンヅメコーナーも楽しめます。売り場面積に占める割合は日本よりもかなり高いように感じます。冷蔵庫の普及が十分ではないのも一因ではないでしょうか。肉系、魚系、豆、野菜系、スウィーツ系。これでもかと並んでいます。スパムやコンビーフなど味がしっかりついたものは私には年齢的に手が伸びませんが、魚系は時々利用していますし、常備もしています。私のお薦めはイワシの水煮とオイル漬け、燻製のオイル漬けですね。サバもあるのですがイワシに比べると驚くほどパサパサです。日本ではサバの水煮缶は安くて美味しいので重宝していましたが、当地では身に脂がないのが残念です。イワシは適度に脂が乗り塩味がついていますから、そのままでもお菜やつまみになりますが、ひと手間かけてみましょう。水やオイルを除いて大根おろしに醤油ひとたらし、好みでトウガラシを振っても結構です。大根おろしの代わりにネギやタマネギのみじん切りに醤油やマヨネーズ、豆板醤も目先が変わります。今ではありがたいことにプラスチック製のおろしがねはダイソーで手に入ります。大根おろしはそのままでも醤油やかつお節を

かけても日本人の心に響く味です。味噌か醤油と砂糖少々、生姜の千切り若干に水を加えて加熱、イワシを投入して一煮立ちするとカンヅメが立派な一品料理に変身します。燻製イワシのオイル漬けはそのままで十分に美味しいのですが、タマネギのみじん切りやにトマトのざく切りを加えて、好みでコリアンダー（香菜）やチリソース、カラマンシーで味を整えると一層食もお酒も進みます。マヨネーズもいけますよ。マヨネーズついでに。ホールコーンのカンヅメは水を捨ててそのままスプーンで食べたり、マヨネーズで和えると料理をするのが面倒な時には助かります。ヒヨコマメはカレーやシチューに入れます。広い意味での和食、もしくは日本の家庭料理に近づけるためのひと工夫は必要です。ただ、いかに簡単に、無理なく済ませるかは継続させる上での重要なポイントです。最近は日本製も含め冷凍食品が豊富に出回るようになったのも助かります。因みに納豆は冷凍しておけますから日本から大量に持って来ことも出来ます。

冷凍食品を含めいろいろ工夫してセブ暮らしを楽しみましょう。

広告掲載のお礼

この度フリーペーパー各社（セブトリップ、咲楽、セブポット様）のご厚意により日本人会の情報、お知らせを無料で掲載していただくことになりました。いろいろな情報がたくさんの方に発信できるようになり関係者一同喜んでます。この場を借りて御礼を申し上げます。

セブ日本人会 会長 櫻井 絹恵



★セブ島通信に記事を掲載したい方は「メール：info@ja-cebu.com」迄、お問合せください。
★セブ島通信では、発行日（奇数月の月初）の1ヶ月前を締切として原稿を公募しております。